

12/19 朝日

大阪 重症病床使用70%超す

大阪府は8日、新型コロナウイルスの重症患者が146人となり、確保している重症病床206床の使用率が70・9%になつたと発表した。府の独自基準「大阪モデル」で非常事態を示

す「赤信号」をつける指標の70%以上を満たした。府は前倒しして「赤信号」を点灯させているが、医療崩壊を防げるかが課題だ。

▼26面||独自システム断念
重症病床の使用率は3日公表時点で66・0%に達し、府は赤信号を点灯させ、「医療非常事態」を宣言。府の試算では、1週間の感染者数の伸びが1・2倍のペースで11日まで増えた場合、重症者数は23日にピークの175人に達するという。それ以上だと病床が足りなくなる可能性があり、危機感を強めている。

府は15日から重症病床30床を備えた臨時施設「大阪コロナ重症センター」の運営を始める。看護師が足りず30床すべては運用できない見通しだ。
(森下裕介)